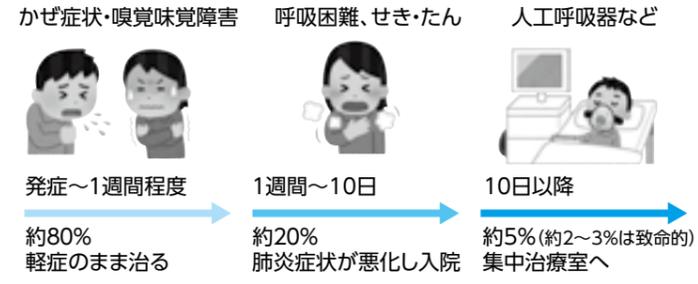




## 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス(SARS-CoV2)はコロナウイルスのひとつで、コロナウイルスには一般のかぜの原因となるウイルスや、重症急性呼吸器症候群(SARS)や中東呼吸器症候群(MERS)ウイルスが含まれます。新型コロナウイルス感染症の初期症状はかぜやインフルエンザに似ています。また、重症化すると死に至る危険があります。

### 【新型コロナウイルス感染症の一般的な経過】



高齢者や基礎疾患のある方は、重症化の危険性が高まります。例えば、30歳代と比較して、60歳代の重症化率は25倍、80歳代は71倍とされています。したがって、人口の約2.4人に1人が高齢者である国東市は、非常に危険性の高い環境にあるといえます。



## 主な感染経路

飛まつ感染が主体で、換気の悪い環境ではくしゃみやせきなどがなくても感染すると考えられています。また、接触感染も考えられています。

### 飛まつ感染

感染者の飛まつ(くしゃみ、せき、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染することになります。

### 接触感染

感染者がくしゃみやせきを手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付き、その手で口や鼻を触ることなどで粘膜から感染することになります。

### 基本的な3つの感染防止策

#### ① 身体的距離の確保

人との間隔はできるだけ2m(最低1m)空け、会話をする時は正面を避けましょう。3密(密閉・密集・密接)の場面を避けることも重要です。

#### ② マスクの着用

会話をする時は症状がなくてもマスクを着用しましょう。飛まつ防止に効果があります。会話の際はマスク着用を。

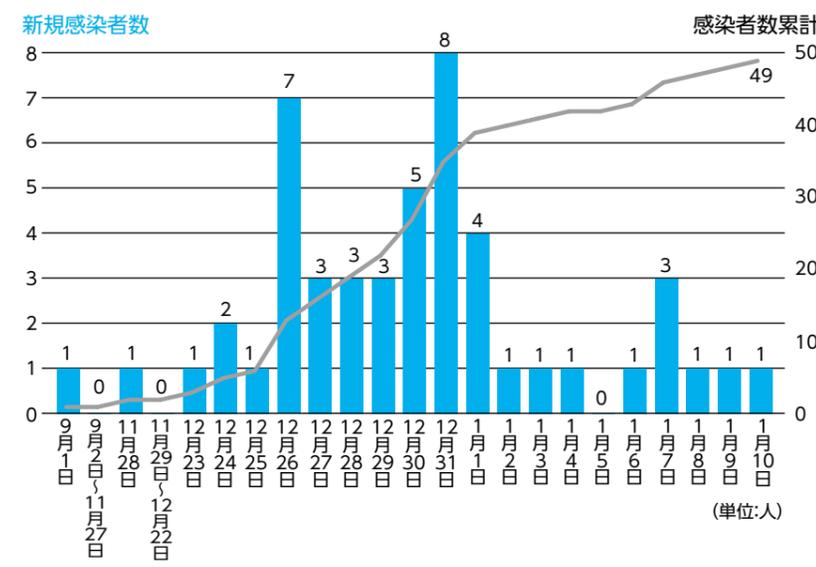
#### ③ 手洗い

手洗いは流水だけでも効果がありますが、石けんを使った手洗いはより有効です。手指消毒用アルコールもウイルスの感染力を失わせることができますので有効です。



## 国東市内の感染者数

12月に市内で複数の集団感染事例が発生し、市の感染者数は大きく増加。12月26日に、三河市長が防災行政無線で緊急メッセージを發表しました。ウイルスの感染拡大を食い止めるには、集団感染の再発を防ぐことが大切です。



## 特集

# コロナ危機を乗り越える

### 私たちは何をすべきなのか

昨年の11月頃から、新型コロナウイルスの感染者が全国的に再び増加し、1月7日に国は2度目の緊急事態宣言を行いました。全国同様にも県内でも感染が広がる中、12月下旬に市内で複数の集団感染事例が発生。年が明けても、連日のように市内で新たな感染者が発表される事態となっています。新型コロナウイルスの感染拡大は、決して「遠い都会の話」ではありません。今、このまちで起きている危機なのです。

この危機を乗り越えるために、私たちは何をすべきなのでしょうか。現場の最前線に立つ医療従事者の声から、探っていきます。

※この特集は、1月15日現在の情報を基に制作しています。  
※写真撮影時のみマスクを外しています。